



明野しいのみ保育園 令和5年4月3日発行



新しいお友達を迎え新生活がスタートしました。期待に胸をふくらませた子ども達が、一年間元気で過ごせるよう保護者の皆さんと一緒に見守っていきたいと思います。

どうぞよろしくお願いたします。



子どもさんが健康であることはお家の方の何よりの願いですね。でも、小さな子どもさんは身体の発達がまだ十分でなく抵抗力も弱いため、体調を崩したり集団生活に入ることによっていろいろな病気に罹ったりすることも多くなります。子どもさんがつらい思いをしないよう、また他の子どもさんに病気をうつさないよう予防を心がけていきましょう。

1. 毎朝、登園前に健康観察を

毎朝登園する前に、ご家庭で子どもさんの健康観察をしましょう。

朝の体調で少しでも気になることがあれば、登園時に担任にお知らせください。また、健康状態によっては、急な連絡をする必要がある時があります。お仕事がお休みや出張で職場に連絡がつかない時は、必ず緊急時の連絡先を職員に伝えてください。



2. 健康管理について

こんな時は、登園できません

- 熱があるとき・・・明らかに平熱より高いとき
- 解熱剤で解熱している場合
- 嘔吐、下痢のあるとき
嘔吐・下痢症状が改善し、普段通りの食事が摂れるまでは自宅療養をお願いします
- 骨折等で特別な介助が必要なとき（移動、排泄等）
- 予防注射接種をした日
(副反応が起こる可能性があるため)
- 感染症、結膜炎（感染性のもの）、ひどいとびひ等、他の人にうつる症状のとき
- ★子どもさんの体調が悪いのに仕事の都合がつかない方のために病児保育があります。

こんなときは、できるだけ登園を控え、お家で療養しましょう

- 前日に熱（38.0℃以上）が出た・下痢をした・嘔吐した
登園の前 24 時間以内に、38℃以上の熱がある・2 回以上の嘔吐や下痢があるなどの時は、自宅で療養し様子観察をお願いします
- 食欲がなく、食事や水分が充分とれないとき
- 機嫌が悪く、元気がないとき
- 夜間しばしば咳のために起き、よく眠れていないとき
- 発疹があり、感染症が疑われるとき
(病院受診が必要です)
- 頭を打った時
(登園前に病院受診し、登園してよいか医師に確認してください。24 時間は自宅で安静にして様子観察しましょう)

★保育中に、38.0℃以上の熱が出たときや嘔吐・下痢が続いた場合は、連絡させていただきまますので、速やかなお迎えをお願いします。38.0℃を目安としていますが、いつもと様子が違うときは食欲がない場合など連絡させていただく場合があります。



こんな時は、連絡させていただき、お迎えをお願いすることもあります

- 熱が出たとき
- 吐き気がある
- 顔色が悪い
- 発疹がある
- 目の充血、目やにがある
- 下痢が続いている
- 腹痛を訴えている
- いつもに比べ元気がない
- 様子がおかしい

★連絡先の変更があった場合は、速やかに届けてください。



3、園での与薬について

①原則的にはお預かりできないことになっています。

(薬の与薬は本来医療行為となっており、保護者以外の者が与薬することは、医療行為に違反し、医師法違反になると考えられています。)

②病院受診の際に、家庭で与薬できるよう(1日2回の処方や、朝・夕・寝る前など)処方してもらうようにしましょう。

病状により、やむを得ず園での内服が必要な場合のみお預かりしますので、保育士に相談して下さい。

※予約依頼は必ず手渡しでのお預かりとなります

[薬をお預かりする場合]

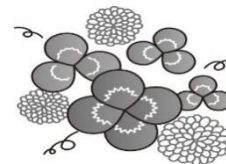
- ・薬は、現在の病気に対して医師が処方したものに限りまます。
坐薬・貼付薬・市販の薬は、受け付けません。
(熱性けいれん既往者のけいれん止めはお預かりします。)
- ・薬は、1回分のみお預かりします。水薬については1回分を小分けにして持参して下さい。
薬の全てに名前を明記し「与薬依頼カード」に記入し保育士に手渡しして下さい。
薬と予約カードは1つの袋(ビニール袋、ジップロックなど)に入れて必ず職員へ手渡しして下さい。
- ・「与薬依頼カード」が無い場合や、薬やカードに名前記載や不備や不明な点がある場合は与薬できませんのでご了承下さい。

ご協力をお願いします



4、予防接種について

小学校入学までに済ましておきたい予防接種がたくさんあります。体調をみながら計画的に接種しましょう。予防接種をした時は、副反応が起こる可能性がありますので、接種後はお預かり出来ません。お休みの日や降園後に受けるようにしましょう。



5、嘔吐や下痢で汚れた衣類・下着等の取扱いについて

園では、“人から人への感染の防止”の観点から、血液・排泄物（便尿）・嘔吐物は感染の危険性があるものとしての取り扱いをしています。園内で嘔吐や下痢の症状があった時は、感染性の可能性を考え、大分市の指導により、汚れたものを水洗いせずにビニールに密封しお渡ししますので、ご了承ください。ご家庭での対処をお願いします。

[処理方法]

汚れ物は、塩素系消毒剤（ハイター等）で消毒し、その後で洗濯しましょう。（消毒せずに洗濯機で洗うと、洗濯機がウイルスに汚染され、他の衣類にもウイルスが付着します。）

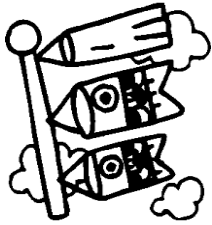


6、病児・病後児保育の紹介

大分市では、子どもさんの体調が悪いのにお仕事の都合がつかない方のために、病児保育の施設があります。各施設で利用時間が異なりますので各自ご確認ください。

●実施施設

施設	電話	場所	実施事業所
キッズケアールーム	567-1230	片島 83 番地の 7	大分こども病院
病児保育センターひまわり	522-3187	西鶴崎 3 丁目 7-11	大分岡病院
こどもデイケアールーム	090-3734-4228	椎迫 3 組	西の台医院
病児保育センターつくしんぼ	597-0050	中戸次 5950 番地	天心堂へつぎ病院
病児保育 ままのて	529-8686	大在浜 1 丁目 8 番 28 号	谷川胃腸科小児科医院
スマイルケアールーム	545-0040	田中町 2 丁目 6 番 6 号	かわのこどもクリニック



すくすくげんき通信

明野しいのみ保育園 令和5年4月28日発行



5月号

5月は暦の上では夏の始まりです。爽やかで過ごしやすいですが、朝晩と日中の気温差が大きく、体調を崩しやすい時期でもあります。元気に過ごすコツは、早寝・早起き・朝ごはん。体調管理をしっかりしていきましょう。

健康診断の日程

内科健診 15日(月) 13時～
歯科検診 16日(火) 10時～



【嘱託医のご紹介】

(内科)

年に2回健康診断をしていただき、健康相談についてのご指導とご協力をいただいている園医の先生をご紹介します。

(内科) (かなや小児科)

金谷 能明先生

(歯科) (明野デンタルクリニック)

板井 知洋先生



ご質問やご相談がありました担任または看護師へお知らせください。※健診を当日に受けられなかった場合には、後日個別にて受診をお願いします。できるだけ都合でのお休みがないようにお願いします。

ウイルス性胃腸炎が増えています！

今月に入り「ウイルス性胃腸炎」でのお休みが増えています。ノロウイルスやロタウイルスなどに感染すると、おう吐と水のようなひどい下痢が起こります。高熱はあまり出ませんが、おう吐や下痢で体内の水分が失われ、脱水症になると危険です。子どもの様子を見ながら水分補給を心がけ安静に過ごしていきましょう。

《おう吐・下痢のケア》

・ 吐いた後に、のどが渴いたからといって水などたくさん飲んでしまうと、かえって吐きやすくなるので気をつけましょう。吐き気が治ったら、子ども用のイオン飲料やお茶、スープなど、飲める物を少量ずつ飲ませましょう。



熱中症予防のポイント



5月はからだ動かすと気持ちのいい季節。でも、急に暑くなった日は熱中症に要注意！「熱中症は夏になるものでしょ?」。そう思われがちですが、この時期はまだ体が暑さに慣れていないので、いきなり激しい運動をすると熱中症の危険があります。

熱中症予防のポイント

- こまめな休憩と水分補給
- 脱ぎ着しやすい服装
- 屋外では帽子をかぶる
- 軽い運動で暑さに慣れておく



油断せず、しっかり対策しましょう。疲れたときや体調が悪いときは無理をしないことも大切です。



すくすくげんき通信

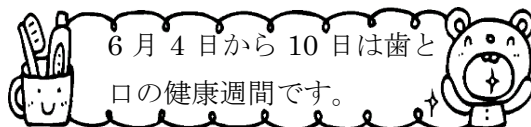


6月号



明野しいのみ保育園 令和5年5月31日発行

6月になりました。梅雨の時期は急に気温が上がって汗をかいたり、かと思えば夕方ごろには寒くなったり。気温の差が激しいと体調を崩しやすいので、衣服で調節をしてください。心も体も元気に梅雨を乗り越えましょう。梅雨があけたらピカピカの夏はすぐそこです。



仕上げみがきを
お願いします

お子さんがきちんとみがけているかチェックし、みがき残しがあれば、仕上げみがきをしましょう。



乳歯が生えてきたら始めましょう。

注意してみがいてほしいところ

奥歯の外側・内側

毛先をきちんとあて、軽い力でこきざみにみがきます。



前歯の表側・裏側

表側は上唇の裏の“ひだ”にあたらないように、指でガードします。裏側は歯ブラシを縦にしてみがきます。



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の変更についてのお知らせ

令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症となりました。新型コロナウイルス感染症の「登園のめやす」が設定されていますのでお知らせします。

【新型コロナウイルス感染症の登園のめやす】

- ・発症した後5日経過し、かつ、症状が軽快※①した後1日を経過すること
- ・無症状の感染者の場合は、検体採取日0日として、5日を経過すること

(※①症状軽快とは、解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、呼吸器症状(咳や息苦しさ)が改善傾向にある状態を指します。)

※登園時には意見書をご提出ください

国内で麻疹(はしか)の感染事例が報告されています。はしかは予防接種が有効です。予防接種は第1期【生後12ヶ月(1歳)から生後24ヶ月(2歳)未満】第2期【5歳以上7歳未満で小学校就学前1年間にあたる幼児】となっています。接種状況をご確認ください!

はしかと風しんは 予防接種が効果的!

はしかと風しんは、乳幼児がかかりやすい感染症。集団感染することも多く、抵抗力が弱い0、1、2歳児は、体力が奪われるのでとてもつらい病気です。予防接種で防ぐことができるので、1歳を過ぎたら早く、はしかと風しんの混合ワクチン(MR)の接種をお勧めします。

接種当日に体調が悪いと受けられないので、接種日前は疲れないようにするなど、体調管理を心がけましょう。





すくすくげんき通信

明野しいのみ保育園

令和5年6月30日発行



いよいよ夏本番。そこで大切なのは「睡眠・食事・水分」。不足していると、夏バテや熱中症になってしまいうこともあります。暑さに負けない体を作るには「まいにち朝ごはん」「汗をかく」「冷やしすぎに注意」「しっかり睡眠」が大切です。そして、「なんどもこまめに水分補給」がとても重要です。暑さに負けず、元気に過ごしていきましょう！



6月に初旬より下記の感染症が増えてきています。夏に多い感染症といえば、ヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱（プール熱）があります。下記の症状がありましたら、かかりつけ医への受診をおすすめします。診断された場合は「意見書」または「登園届」の提出をお願いします。

【ヘルパンギーナ】

38～40度の発熱、のどの痛み、食欲不振、のどの奥に小さな水疱ができます



【手足口病】

口の中、手のひら 指、足の裏などに発疹がでて、熱がでることもあります



【咽頭結膜熱（プール熱）】

38～39度の高熱、のどの痛み、頭痛、目の充血、涙が出たりします。



【新型コロナウイルス感染症発生についてのお知らせ】

第5類になったことから、コドモンで都度の発生通知は行いません。他の感染症同様、玄関入口の感染症ボードに記載します。第9波の兆しがみられていますが、引き続き手洗いうがいなど基本的感染対策をしっかり行っていきましょう。



日中は暑さのため戸外で遊んでいると汗をたくさんかくことがあります。肌着は通気性の良い綿素材を選んでいただくようお願いします。保育園でも汗をかいたらこまめに着替えをし、清潔が保てるようにしていきますので着替えの衣服を忘れずに用意してください。夏はあせもなどの皮膚トラブルがみられます。あせもや水いぼ、とびひなどの症状がある場合（とびひ等で浸出液が出ている時はガーゼ等で覆うなど）は処置をして登園をお願いしています。

あせも予防のポイント

子 どもはたくさん汗をかきます。汗をかいたまま放っておくと、汗腺に塩分やホコリが詰まって炎症が起こり、あせもができてしまいます。

特に首元、脇、肘・膝の裏、下着の締め付け部分などにできやすいです。

- ◎ 汗をかいたら乾いたガーゼやタオルで拭く
- ◎ 通気性が良く、汗をよく吸う肌着を着る
- ◎ こまめにシャワーを浴びる



あせもができて、ひっかかないように伝えましょう。冷たいタオルなどで冷やすとかゆみが和らぎます。





すくすくげんき通信

8月号

明野しいのみ保育園

令和5年7月31日発行



今年の夏も厳しい暑が続いています。そこで大切なのは「睡眠・食事・水分」。不足していると、夏バテや熱中症になってしまうかもしれません。しっかり食べて、忘れず水分補給。夜はぐっすり眠る！で夏の暑さに負けず元気いっぱいにご過ごしていきましょう。



夏の感染症に注意してください！！

保育園では先月からヘルパンギーナや手足口病などの感染症が多くみられました。現在でも数名、罹患者が出ている状況です。それと同時に冬に多いと言われているRSウイルス感染症や感染性胃腸炎などの感染症もみられています。

季節を問わず、感染症が流行しています。

感染症において大事なのは手洗いになります。ご家庭へ戻ったらまずは手洗い！をお願いします。

園でも戸外遊びの後、食事の前、排泄の後に手洗いを実施しています。

それと同時に大切なのが食事と睡眠です。しっかり食事を摂り、ぐっすり眠ることで免疫力がアップします。

感染症の中でもワクチンを接種することで発症を防いだり、かかっても軽くて済むものがあります。かかりつけの病院と相談してワクチンスケジュールを組んでいくようお願いします。感染症の状況は発生クラスの前に掲示しています。玄関入口のボードにも記載していますのでご確認ください！



防ごう！！

子どもの熱中症



子どもは大人より熱中症になりやすいです。汗をかく機能が未熟で体に熱がこもりやすく、地面からの照り返しを受けるためです。

子どもの熱中症を防ぐポイント

- 水筒を持ち歩かせ、のどが渇く前に水分を摂らせる
- 通気性が良く、汗をよく吸う服を着せる
- 帽子をかぶらせる
- 日陰や室内でこまめに休ませる

園でも体調の変化に気を付けていきます。ご家庭でも「早寝・早起き・朝ごはん」と水分補給のご協力をお願いします。



夏の肌トラブルに注意しましょう

夏は「あせも」「とびひ」など、肌トラブルが起きやすくなります。



肌トラブルを防ぐために



きちんとお風呂に入り
体を清潔に



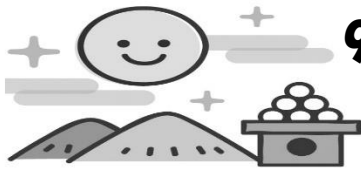
肌を傷つけないために
爪を短く切る



かゆくても
かきむしらないように

冷たいタオル
などで冷やす

もしもなってしまったときは、病院を受診しましょう



9月号 すくすくげんき通信



明野しいのみ保育園 令和5年8月31日発行

まだまだ暑い日が続いていますが朝夕はほんのり涼しく感じられたり、夜によく耳を澄ますと虫の音が聞こえたりと秋が近づいてきているのを感じます。季節の変わり目は、体調不良になりやすいときでもあります。生活リズムを整えて元気に過ごしましょう！



☆運動会の取り組みがはじまります☆

9月に入ると運動会へ向けての取り組みがはじまります。靴のサイズは合っているか、きちんとフィットしているかなどの確認をお願いします！成長期の骨は柔らかくて変形しやすいため、注意が必要です。大きすぎる靴は足の指が踏んばれなくて扁平足になったりすることがあります。小さすぎる靴は指が丸まり成長を妨げます。

(ピッタリサイズのポイント)

- つま先のゆとりは指がグーパーできるくらい
- かかとがパカパカしない
- 足が曲がる位置で靴も曲がる
- 足の横がきつくない
- つま先が反りあがっている
- 靴底に弾力がある

靴選びは、デザインよりサイズがポイントです。ピッタリの靴で快適に活動ができるよう準備して応援してください！！

9月9日は救急の日です。

年齢が上がるにつれ、できることが増えていく子どもたち。同時に、思わぬケガや事故も増えてきます。慌てず対処できるようにしていきましょう。



切り傷・すり傷

傷口を洗い、清潔なタオルなどでおさえます。傷口が大きい場合や出血がおさまらないときは病院へ受診をおすすめします。



誤飲

何をどれくらい飲んだか、どんな状態かを観察します。大量の薬を飲んだ、意識がない、けいれんや嘔吐をしている場合は受診を！



やけど

水道水で10分以上冷やします。やけどの範囲が広い、水ぶくれができて、皮膚が黒または白くなっている場合は病院を受診し処置をしてもらいましょう。

☆皮膚トラブルが見られています☆

園内では夏のこの時期は湿疹、あせも、すり傷、虫刺されなどの皮膚トラブルが増えてきています。皮膚トラブルから掻きこわした傷口に細菌が感染して起こるとびひなどの皮膚症状も見られています。とびひは強いかゆみがあり、掻いて水疱が破れると感染力の強い細菌を含んだ液が飛び散り、ほかの部分にまたたく間に広がっていきます。水疱が破れたあとは、かさぶたになりしばらくするときれいに取れますが、ときには全身に水疱が広がるケースもあるので注意が必要です。いつもより皮膚を清潔に保ち、掻きこわさないように爪も短く切りましょう。保育園では肌と肌が触れあって遊ぶことも多いです。水疱が破れて液が出ている時は患部をガーゼ等で覆うなど保護をして登園してください。

ご協力よろしくお祈いします。



すくすくげんき通信



明野しいのみ保育園

令和5年9月29日発行

朝・夕の心地よい風に、季節が移り変わっていくのを感じます。もう“秋”ですね。なにをするにも気持ちのいい穏やかな季節です。朝夕は冷え込むこともあります。日中の活動ではまだまだ汗をかきます。上着で調節できるような服装で登園をお願いします。手洗い、うがい、栄養バランスのとれた食事、十分な換気と睡眠で、ウイルスを寄せ付けない生活を心がけましょう！

10月10日は「目の愛護デー」



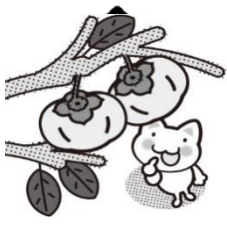
生まれたばかりの赤ちゃんの視力は0.02~0.04くらいで、光や物の形がぼんやりわかる程度です。それが6ヶ月頃には0.1ほどになります。1歳で0.3ほど、3~5歳で0.8~1.0ほどになり、立体的に物が見られるようになります。8歳ごろになると視機能の発達がほぼ終わります。この急激に目が発達する時期に、見えにくい状態が続くと、メガネをかけていてもよく見えない「弱視」になってしまいます。まぶしがったり、見えづらそうにしているときは、早めに病院を受診しましょう。

たくさん物を見て感じることで目の機能はぐんぐん発達するので、さまざまな物に触れさせてあげましょう。

「インフルエンザの予防接種の時期になりました」

インフルエンザの流行時期は12月から3月頃といわれていますが、今年は例年より早く「流行注意報」が出ている地域もあります。近隣の学校等でもインフルエンザの罹患者が増えてきているようです。小児科等でもインフルエンザの接種受付が始まる頃です。インフルエンザワクチンは効果が期待できるのが5か月間。また、ワクチンはそのシーズンに流行予想されるウイルスに合わせて作られているため毎年受ける必要があります。ワクチンを接種することで、発症を40~60%防げるといわれています。重症化予防にも効果があるので、小児科またはかかりつけ医とご相談の上、接種のスケジュールを組まれることをお勧めします。インフルエンザに罹患した後、登園される際は意見書のインフルエンザの所にチェックいただきますようお願いいたします。インフルエンザに関しましては意見書の用紙に記入いただきますが主治医からの記入は不要です。発症日と解熱した日をご記入ください！

新型コロナウイルス感染症につきましては別途用紙がありますので新型コロナウイルス感染症の用紙にご記入ください。ご協力よろしくお願いいたします！！



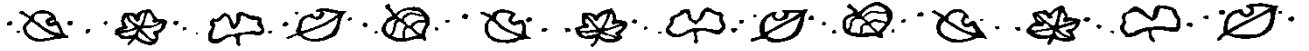
すくすくげんき通信

明野しいのみ保育園

令和5年10月31日発行



11月8日は立冬で、暦の上では冬が始まります。とは言っても、まだまだ気持ちのいい秋晴れの日も多いですね。秋は日の入りからしばらく暗くならない薄明の時間も、夏と比べて短くなりあっという間に暗くなります。そのため夕方は歩行者や自転車に気づくのが遅れて、交通事故の危険性が高くなる時間ともいわれています。降園時は園の周辺も車が込み合います。子どもさんの手をしっかりと握り、また目を離すことのないよう事故やケガには十分気をつけていきましょう。



☆感染症注意報△☆

感染症流行の季節がやってきました。うつらない・うつさないための基本は・・・

手洗い

手のひら・つめ・親指のまわり・手の甲・指の間・手首を20秒以上かけて洗いましょう。

咳エチケット

せきやくしゃみをする時は腕やハンカチで飛沫をガードしましょう

毎朝の健康観察がとても重要です。日頃となにか様子が違うな・元気がないな・は体調不良のサインかもしれません。いつもと様子が違うときなどご家庭での様子を担任へお知らせください！

11月の予定

内科健診 16日(木) 13時～

歯科検診 14日(火) 10時～

当日受けられなかった場合、後日嘱託医まで保護者の引率で健診を受けに行っていただきます。都合で欠席する場合は、担任にお知らせください。できるだけ健診の時間だけでも連れてきてくださるようお願いいたします。

結果は後日個別にお知らせします。



インフルエンザが流行しています！



10月に入ってから3歳児、後半より4歳児クラスでインフルエンザが流行しています。インフルエンザはインフルエンザウイルスの感染が原因で起こる病気です。感染のスピードが早く、感染者のくしゃみやせきで飛び散ったウイルスが、鼻やのど、気管支などに入り込んで炎症を起こします。症状は寒気を伴う高熱がみられる場合が多いのが特徴です。39～40度の高熱がみられる場合が多いです。その他にもせき、鼻水、頭痛の他、吐き気、腹痛などの消化器系の症状を起こす場合があることから、インフルエンザが流行している時に鼻水、せき、発熱などの症状が見られたらインフルエンザの感染が疑われます。インフルエンザと診断されましたら、登園基準「発症後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで」に沿っての登園をお願いします。意見書のインフルエンザの項目にチェックをいれていただき、発症日と解熱日を記載してください。意見書の提出になりますが、インフルエンザに限り医師の記入は要りません。保護者の方が記載してください。ご協力よろしくお願



すくすくげんき通信



明野しいのみ保育園 令和5年11月30日発行

12月22日は「冬至」です。冬至は1年で最も日が短い日のこと。この日湯船にゆずを浮かべたゆず湯に入ると風邪をひかずに冬を越せると言い伝えがあります。実際にゆず湯は血行を促進させたり、体を温めたりする効果があります。ぜひゆず湯に入って元気に冬を乗り越えましょう。12月はクリスマスやお正月などの楽しい行事が続きます。でも夜更かしや食べ過ぎは体調を崩す原因になってしまうかもしれません。せつかくの楽しい行事に風邪などひかないようゆとりのある計画で健康的に楽しい時間をお過ごしください。



☆咳エチケット実践してみましょう☆

感染症が流行する季節になってきました。保育園でもインフルエンザの流行がみられました。感染症でなくても咳や鼻水の症状が多く見られています。咳エチケットができる年齢の子どもさんには実践してみたいと思います。保育園など人が集まるところでは効果的です！

1. マスクを着用する
2. ティッシュやハンカチで口や鼻を覆う
3. 上着の内側や袖（そで）で覆う

※せきやくしゃみを手で押さえている方が多いです。手に細菌やウイルスが付着し感染が広がってしまう可能性があります。保育園でも咳エチケットを伝えていきます。ご家庭でも咳が出ている時にお伝えください！

☆内科健診・歯科検診が終わりました☆

年に2回、嘱託医（かなや小児科医師・明野デンタルクリニック医師）による内科健診・歯科検診を実施しています。

内科健診で再受診の必要があった方は個別に連絡していますので、受診くださるようお願いいたします。歯科検診で要治療の方はなるべく早めに治療される方が痛みなどの負担がすくなくてすみます。健診が済んだらおしまいではなく、**早めの受診**をお勧めします。健診から受診へのバトンタッチが大切です。今回、要治療でなかった方もお口の健康を守るためには、日々の仕上げ磨きなどのアフターケアと歯科によるプロケアの組み合わせが大切だと思います。子どもの大切な歯を守っていきましょう！



子どもの冬の服装

インナー編

重ね着であたたかくする意味でも、遊んだ時に体を冷やさないよう汗を吸ってもらう意味でも大事な肌着。冬の肌は乾燥するので、刺激の少ない素材がおすすめです。

アウトナー編

外遊びの時に意外と汚れるので、洗えるものだと便利。フードは遊具などに引っかかってケガをしやすいため注意が必要です。

おすすめはこれ

上下編

たくさん動き回るので、裏起毛やポア素材だと暑くなってしまいがち。動きやすいよう厚手すぎず、汗を吸ってくれるものが良いですね。



体温調節の力が未熟な子どもたちのために、おうちの方も上手な服選びを手伝ってあげてください。



すくすくげんき通信

1月号

明野しいのみ保育園

令和6年1月4日発行



新しい年が始まりました。年末年始は家族や親戚と集まったり、少し夜更かしをしてみたりと楽しい時間を過ごしたと思います。でも生活のリズムが乱れてしまうこともあります。早寝・早起き・朝ごはんで体調をしっかり整えて今年もげんきいっぱいに登園しましょう。



(インフルエンザの意見書について)

インフルエンザが流行しています。インフルエンザに罹患した場合「意見書」の提出をお願いしていましたが、昨年同様、医療機関のひっばく等の問題から「意見書」の提出を今年度も不要といたします。必要なインフルエンザ以外の感染症については今まで通り提出をお願いします。登園の目安は、

「発症後 5 日を経過し、かつ解熱後 3 日経過していること」《保育所における感染症対策ガイドライン（2018 改訂版）より》です

ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

MR(麻疹・風疹の混合ワクチン)の 予防接種はお済みですか？

対象になるのは

(第1期)生後12月から24月未満

(第2期)小学校就学前1年間(ひまわり組の園児)

接種はお済みですか。体調の良いときに忘れずに接種しましょう。

尚、予防接種を受けた後は園でお預かりできません。自宅で副反応が無いか経過観察をお願いします。



ウイルス性胃腸炎に注意しましょう！

冬の感染症の1つとして気をつけたいのが「ウイルス性胃腸炎」。園でもおう吐や下痢症状でのお休みが多くなってきました。ウイルス性胃腸炎はロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルスが胃腸に感染しておこる病気です。感染するとおう吐と水のようなひどい下痢がおこります。高熱はあまり出ませんが、おう吐や下痢で体内の水分が失われてしまうので脱水症に注意が必要です。おう吐や下痢が続くときは経口補水液や湯さましなどを摂っていくようにしましょう。原因の1つとなるロタウイルスに対しては予防接種があります。ワクチンをした場合は高い確率で発症しない、または重症化を防ぐことができます。1回目の接種時期が早く、接種できる期間も短いので、早

知っておこう

おう吐物の処理

冬場に流行するウイルス性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスなどの感染によって起こります。家庭でも二次感染予防のために、おう吐物の処理にご留意ください。

- ① 窓を開けて使い捨ての手袋とマスクを着け、使い捨ての布などでおう吐物を周辺からふき取る。
- ② 次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）を薄めた消毒液で、おう吐物のあった部分を再度ふく。汚れた物はすべてポリ袋に入れ、消毒液をかけてから密封して捨てる。
- ③ おう吐物の付いた服は、85℃以上の熱湯に1分間つけてから洗濯する。
- ④ さらに乾燥機にかけたり、アイロンをかけたりすると、熱に弱いノロウイルスは死滅しやすい。



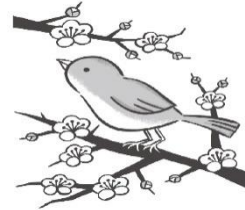


すくすくげんき通信

2月号

明野しいのみ保育園 令和6年1月31日発行

2月4日は立春です。この日から春分までの間に吹く強い南風のことを「春一番」と言います。季節は少しずつ春に向かっているのですね。春一番は春の訪れを感じる名前ですが、次の日には冷たい空気が流れ込んでくることも多く、まだまだ寒さには気をつけたい時期です。油断せずしっかりと体調管理を行っていきましょう。



感染症届け出書類についてのお知らせ

感染症の登園届（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ含む）・意見書がコドモンの資料室より印刷できます。感染症分類（登園の目安）も資料室にありますのでご確認ください。その他園の玄関入口にも意見書・登園届を置いてありますので必要な時はご利用ください。



突然の高熱に注意!

溶連菌感染症

突然、熱の出る、非常に感染力の強い病気です。下記の症状が見られたら、早めに受診しましょう。

- 症状**
- 突然、熱が出て、のどがはれて痛みが出る
 - 全身に発しんが出る
 - 舌にイチゴ状の赤いぶつぶつが出る
 - おう吐、頭痛が起こる



溶連菌感染症は 治った後も検査を受けて

溶連菌感染症は、突然の高熱、のどの真っ赤なはれ、かゆみのある発しんが全身に広がるなどの症状が出ます。抗菌薬を飲めば治りますが、大切なのは、症状が治まった10日~2週間後に1回、さらに1か月後に1回、尿検査を受けること。「急性糸球体腎炎」などの合併症を起こしていないか確認するためです。忘れずに受診しましょう。



1月の中旬より園ではインフルエンザA、インフルエンザB、新型コロナウイルス感染症の他に溶連菌感染症の感染もみられています。溶連菌感染症の登園基準は抗菌薬投薬後24時間~48時間が経過していることとなっています。登園する際は登園届を記入し、提出をお願いします。



3月号

すくすくげんき通信



明野しいのみ保育園 令和6年2月29日発行

少しずつ暖かくなり、地面にはタンポポや菜の花が、木には梅の花が先始めるなど春らしさを感じられる時期がやってきました。しょくぶつの開花に触れ、季節を感じることで、心が癒されりフレッシュできます。たくさんのきれいな花が咲く春を楽しんでみてください。



子どもの耳のトラブル



外耳炎・主な症状（耳の痛み、かゆみ、聞こえが悪いなど）

耳の入口から鼓膜までの間（外耳）に起こる炎症です。耳垢がさまりすぎて発症することもあるれば、逆に耳掃除の際についた傷から感染することもあります。耳かきのしすぎにもご注意ください。

中耳炎・主な症状（耳の痛み、耳だれ、聞こえが悪い、発熱）

子どもは鼻と耳を繋ぐ管が太く短いため、感染症をきっかけに中耳炎を発症することが多いです。風邪の後に耳を気にするそぶりがあるときは要注意です。



園での予約について

- 病状によりやむを得ず園での内服が必要な場合のみお預かりします。（原則的にはお預かりできないことになっています）
- お預かりする薬は、現在の病気に対して医師が処方したものに限りませす。
- 座薬・貼付薬・市販の薬は受け付けません。
- 病院受診の際に、1日2回の処方や、朝・夕・寝る前などの時間変更で、家庭で予約できるよう処方できないか医師に相談してください。園での内服が必要な場合は持参してください



この1年間、子ども達が笑顔で過ごせたことを嬉しく思います。毎日の健康観察、体調管理など保護者の方には御協力をいただきありがとうございました。来年度も元気に過ごせて笑顔いっぱい登園してくれる姿を楽しみにしています！

看護師 奈須

